

一般財団法人 共立国際交流奨学財団  
平成 27 年度事業報告書  
(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

I. 財団の管理・運営

寄附金の受入

株式会社共立メンテナンスからの寄附金（使途不特定、但し一部は株式会社共立メンテナンス奨学基金奨学金 35 名分）及び個人 2 名からの寄附金（現地支給奨学金）を受け入れました。

会議の開催

第 16 回理事会 (平成 27 年 6 月 5 日)

平成 26 年度事業報告、決算報告及び公益目的支出計画実施報告が承認されました。理事の職務権限の変更が承認されました。第 14 回評議員会の招集が承認されました。

第 14 回評議員会 (平成 27 年 6 月 19 日)

平成 26 年度事業報告、決算報告及び公益目的支出計画実施報告が承認されました。

第 17 回理事会 (平成 27 年 7 月 31 日)

長期借入金に係る担保差替えに伴う基本財産の担保供与が承認されました。(仮)学校法人共立育英会設立にあたり、新法人への建物寄附、設備及び備品等寄附、初年度運営資金寄附が承認されました。決議の省略の方法による評議員会の実施が承認されました。

臨時評議員会（決議の省略の方法による） (平成 27 年 10 月 2 日)

長期借入金に係る担保差替えに伴う基本財産の担保供与が決議されました。

第 18 回理事会 (平成 28 年 3 月 4 日)

平成 28 年度事業計画、収支予算及び平成 28 年度奨学生 50 名が承認されました。第 15 回評議員会の招集が承認されました。

第 15 回評議員会 (平成 28 年 3 月 18 日)

平成 28 年度事業計画及び収支予算が承認されました。

## 内部統制の整備

（「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」第90条第4項第5号及び同法施行規則第14条に規定する体制の整備）

理事の職務の執行が効率的に行われることを確保する体制を整備するため、平成27年6月5日開催の第16回理事会において理事の職務権限の変更が承認されました。

## Ⅱ. 奨学金支給事業（継続事業1）

### 留学生奨学金の支給

一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金（月額10万円・期間2年間）を、平成26年度生14名及び平成27年度生15名、合計29名に平成27年4月から平成28年3月まで支給しました。

㈱共立メンテナンス奨学基金奨学金（月額6万円・期間1年間）を、平成27年度生35名に平成27年4月から平成28年3月まで支給しました。

現地奨学金を、カンボジア3名、ベトナム3名、ミャンマー3名、ラオス3名計12名に支給しました。

### 選考委員会の開催

第23回選考委員会（平成28年2月19日）

奨学金対象校から推薦のあった平成28年度応募者312名及び現地（カンボジア・ベトナム・インドネシア・ミャンマー）選考会において選考された8名について、審査の結果、一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金15名、㈱共立メンテナンス奨学基金奨学金35名の合計50名を平成28年度奨学生候補者として選考しました。

### 現地奨学生選考会の開催

奨学候補生現地（カンボジア）選考会（平成27年8月27日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者2名に対し、当財団北原選考委員、菊川選考委員が日本語による面接を行い、1名が平成28年度㈱共立メンテナンス奨学基金奨学金奨学候補生に選ばれました。（うち1名辞退）

奨学候補生現地（ベトナム）選考会（平成27年8月29日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者10名に対し、当財団北原選考委員、菊川選考委員が日本語による面接を行い、2名が平成28年度㈱共立メンテナンス奨学基金奨学金奨学候補生に選ばれました。

奨学候補生現地（ミャンマー）選考会（平成27年9月10日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者8名に対し、当財団越前谷選考委員、菊川選考委員が日本語による面接を行い、3名が平成28年度㈱共立メンテナンス奨学基金奨学金奨学候補生に選ばれました。

#### 奨学候補生現地（マレーシア）選考会（平成 27 年 10 月 1 日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者 15 名に対し、当財団大塚選考委員、菊川選考委員が日本語による面接を行い、2 名が平成 28 年度（株）共立メンテナンス奨学基金奨学金奨学候補生に選ばれました。

#### 奨学候補生現地（インドネシア）選考会（平成 27 年 10 月 3 日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者 21 名に対し、当財団大塚選考委員、菊川選考委員が日本語による面接を行い、2 名が平成 28 年度（株）共立メンテナンス奨学基金奨学金奨学候補生に選ばれました。（うち 1 名辞退）

### Ⅲ. 国内・外の留学生に対する生活・学習情報提供事業（継続事業 2）

財団紹介のパンフレット『一般財団法人共立国際交流奨学財団（紹介・情報案内）Vol.21』、情報誌『アジア文流 Vol.37』『アジア文流 Vol.38』、留学生のための日本生活案内『留学生生活手帳（第 4 版）』、留学生のための就職情報誌『共立・桜 Vol.16』を出版し、関係機関、他財団、大学、専門学校、日本語学校及び奨学生などに配布しました。

### Ⅳ. 国際交流活動への支援（継続事業 3）

#### イベントの開催

##### 第 3 回「日本語体験コンテスト in プノンペン」

当財団主催、文部科学省・在カンボジア日本国大使館・全日本空輸株式会社バンコク支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 27 年 8 月 27 日、カンボジア・プノンペン市 SUNWAY HOTEL を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、応募総数 120 名のうち 91 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、16 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行 8 泊 9 日（平成 28 年 1 月 24 日～2 月 1 日）に参加し、日本の大学訪問、富士河口湖小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

##### 第 8 回「日本語体験コンテスト in ホーチミン」

当財団主催、文部科学省・在ホーチミン日本国総領事館・全日本空輸株式会社ホーチミン支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 27 年 8 月 29 日、ベトナム・ホーチミン市 165 NAM KY KHOI NGHIA GUEST

HOUSE を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、応募総数 96 名のうち 69 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、17 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行 7 泊 8 日（平成 28 年 1 月 24 日～31 日）に参加し、日本の大学訪問、富士河口湖小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

### 第 5 回「日本語体験コンテスト in ヤンゴン」

当財団主催、文部科学省・在ミャンマー日本国大使館・全日本空輸株式会社ヤンゴン支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを、平成 27 年 9 月 10 日ミャンマー・ヤンゴン市 NOVOTEL YANGON MAX を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生を対象に実施し、応募総数 50 名のうち 46 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、14 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行 7 泊 8 日（平成 28 年 1 月 24 日～31 日）に参加し、日本の大学訪問、富士河口湖小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

### 第 3 回「日本語体験コンテスト in バンコク」

当財団主催、文部科学省・在タイ王国日本国大使館・全日本空輸株式会社バンコク支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 27 年 9 月 12 日、タイ王国バンコク市パトゥムワンプリンセスホテルを会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、応募総数 101 名のうち 61 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、16 名が予選を通過し、うち辞退者を除く 15 名が午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行 8 泊 9 日（平成 28 年 1 月 24 日～2 月 1 日）に参加し、日本の大学訪問、富士河口湖小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

### 第 13 回「日本語体験コンテスト in 上海」

当財団（東京本部・上海委託事務所）主催、文部科学省・在上海日本国総領事館・全日本空輸株式会社上海・杭州支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 27 年 9 月 19 日、中華人民共和国上海市甘泉外国語中学校を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本の高等教育機関に留学を希望する学生や、日本語を学んでいる中国の高校生・大学生を対象に実施し、応募総数 112 名のうち 96 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、25 名が予選を通過し、うち辞退者を除く 23 名が午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 4 名（1 名参加辞退）は「共立賞」として賞品旅行 5 泊 6 日（平成 28 年 1 月 21 日～26 日）に参加し、北海道大学見学、札幌ホームステイ等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

### 第 18 回「日本体験コンテスト in 大韓民国」

当財団（東京本部・ソウル事務所）主催、文部科学省・在大韓民国日本国大使館公報文化院・日本政府観光局ソウル事務所・東亞日報・全日本空輸株式会社ソウル支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 27 年 9 月 19 日、大韓民国ソウル特別市ロッテホテルを会場として開催しました。

標記コンテストは、大学院・大学校・大学生を対象として、長崎、佐賀、福岡、山口、島根で「実現したい夢」「体験したい事」をテーマに企画を募集しました。

応募者 44 名の中から、書類選考で選ばれた 16 名のうち辞退者を除く 15 名の面接を実施、各々の企画をプレゼンテーションしてもらい、審査委員による採点審査の結果入賞者 5 名が選ばれ、「日本で実現・体験賞」として賞金 300 万ウォンが授与されました。

入賞者 5 名は、平成 28 年 3 月 1 日までにそれぞれの日本体験企画を実施し、その報告書を提出しました。

### 第 1 回「日本語体験コンテスト in クアラルンプール」

当財団主催、在マレーシア日本国大使館・全日本空輸株式会社クアラルンプール支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 27 年 10 月 1 日、マレーシア・クアラルンプール市 JW MARRIOTT HOTEL KUALA LUMPUR を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、応募総数 21 名のうち 17 名が参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、12 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行 7 泊 8 日（平成 28 年 1 月 24 日～31 日）に参加し、日本の大学訪問、富士河口湖小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

## 第 2 回「日本語体験コンテスト in ジャカルタ」

当財団主催、在インドネシア日本国大使館・全日本空輸株式会社ジャカルタ支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 27 年 10 月 3 日、インドネシア・ジャカルタ市 SARI PAN PACIFIC HOTEL を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、応募総数 97 名のうち 34 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、12 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行 7 泊 8 日（平成 28 年 1 月 24 日～31 日）に参加し、日本の大学訪問、富士河口湖小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

## 第 16 回「日本人学生の『アジア体験』コンテスト

当財団主催、文部科学省・外務省・産経新聞社後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを、平成 27 年 11 月 15 日株式会社共立メンテナンス本社を会場として開催しました。

標記コンテストは、大学院・大学・短大・専門学校生を対象として、対象国を「インドネシア・カンボジア・ミャンマーのいずれか 1 カ国」とし、テーマを「①日本語教育体験あるいは日本語教育の現状調査、②現地で必要とされる事業の調査・進出する日本企業等の調査、③医療・サービス等の調査研究」として企画を募集しました。

応募者 18 名のうち辞退者を除く 15 名の面接を実施、各々の企画をプレゼンテーションしてもらい、審査委員による採点審査の結果入賞者 5 名が選ばれ、「夢・アジア体験賞」として賞金 30 万円が授与されました。

入賞者 5 名は、平成 28 年 3 月 16 日までに、それぞれのアジア体験企画を実施し、その報告書を提出しました。

## **助成金の支給**

### 日本人学生の「国際ボランティア支援基金」

日本人学生（高校生・専門学校生・短期大学生・大学生）を対象に、アジアに関する「国際ボランティア」の企画を募集し採用された企画に助成金の支給（一口 15 万円・今年度採用者 2 名）を行いました。

採用者は、平成 28 年 3 月 31 日までに企画を実施し、その報告書を提出しました。

## 研修会の開催

奨学生及び一般学生（留学生・日本人学生）も参加し、相互理解と国際親善交流を促進するための研修会を実施し、訪問地におけるホームステイ、史跡・歴史的建造物見学、ディスカッション等を通して、日本の文化・歴史・自然についても理解を深めました。

### <各研修会報告>

#### 第 89 回 奨学生研修会

開催地：香川県 高松市

開催期間：平成 27 年 5 月 29 日～31 日 2 泊 3 日

参加者：一般財団法人共立国際交流奨学財団 平成 26・27 年度奨学生 29 名

内容：金刀比羅宮参拝・屋島見学など

#### 第 90 回 研修会

共催：一般財団法人共立国際交流奨学財団、美幌町国際交流推進委員会

開催地：北海道 美幌町

開催期間：平成 27 年 8 月 19 日～24 日 5 泊 6 日

参加者：留学生 14 名

内容：ホームステイ、学校交流、レスキュー体験、華道体験、パークゴルフ体験など

#### 第 91 回 研修会

共催：一般財団法人共立国際交流奨学財団、一般財団法人北海道国際交流センター

開催地：北海道 函館地域

開催期間：平成 27 年 8 月 20 日～25 日 5 泊 6 日

参加者：留学生 23 名

内容：ホームステイ、函館観光、ファーム体験など

#### 第 92 回 研修会

開催地：沖縄県 東村

開催期間：平成 27 年 8 月 31 日～9 月 5 日 5 泊 6 日

参加者：留学生・日本人学生 44 名

内容：ホームステイ、農業体験、沖縄観光、マリン活動体験など

#### 第 93 回 研修会

共催：一般財団法人共立国際交流奨学財団、標津町

開催地：北海道 標津町

開催期間：平成 27 年 9 月 3 日～8 日 5 泊 6 日

参加者：留学生 20 名

内容：ホームステイ、ジャングルカヌー体験、郷土料理づくり、サーモン科学館見学など

#### 第94回 研修会

開催地：沖縄県 本島・伊江島

開催期間：平成28年2月5日～10日 5泊6日

参加者：留学生・日本人学生27名

内容：ホームステイ、海岸清掃、沖縄観光など

#### 第95回 研修会

共催：一般財団法人共立国際交流奨学財団、標津町

開催地：北海道 標津町

開催期間：平成28年2月10日～16日 6泊7日

参加者：留学生20名

内容：ホームステイ、冬祭り、スキー体験、サーモン科学館見学など

### V. 日本語教育施設の設置及び運営

日本語教育施設として共立財団日本語学院の管理及び運営を行いました。

### VI. 留学生寮の設置及び運営

留学生の生活支援を行うため、つつじヶ丘男子学生会館・相模大野学生会館の国際交流会館2棟の管理及び運営を、また全国6地域（札幌・仙台・首都圏・名古屋・大阪・福岡）で「学習奨励寮」の運営を行いました。

また、賃貸用不動産「共立財団湯島ビル」の管理及び運営を行いました。